

資	料	提	供
令	和	6	年
7	月	4	日
健	康	福	祉
部	少	子	化
対	策	監	室
子	育	て	支
援	課	長	奥
			村
子	ど	も	家
庭	福	祉	G
L			前
			田
直	通	2	2
5	-	1	4
2	0		
内	線	4	0
6	0		

第72回石川県母子及び寡婦福祉大会の開催について

- 1 目的 母子家庭の母、寡婦及び福祉関係者が互いの連携を深めるとともに、自立意識の向上を図る機会とし、もって母子寡婦福祉の一層の増進を図る。
- 2 主催 石川県、公益財団法人石川県母子寡婦福祉連合会
- 3 後援 社会福祉法人石川県社会福祉協議会
- 4 日時 令和6年7月7日(日) 10:30～12:00
- 5 会場 石川県女性センター ホール (金沢市三社町1番44号)
TEL 234-1112
- 6 参加者 母子家庭の母、寡婦、福祉関係者等 約160人
- 7 内容 (1) 式典 10:30～11:10
石川県知事表彰 (社会福祉功労者) 7人
石川県母子寡婦福祉連合会会長表彰 7人
※受賞者氏名は別添プログラムに記載のとおり
(2) 講演 11:15～11:55
演題「南国の風～心の花をさかせよう～」
講師 白山市立北星中学校 音楽教諭
木下 典子 氏

第72回 石川県母子及び寡婦福祉大会



趣旨

今日、結婚や生き方等に対する価値観の多様化や女性の社会進出、急速な少子高齢化など、社会環境が大きく変化しています。

このような状況の変化に応じて、母子寡婦福祉行政もこれまでの児童扶養手当中心の経済的支援から、就業や自立に主眼をおいた総合的な支援に移行しており、これまで以上に自立への努力が求められています。

こうした中で、母子家庭の母、寡婦及び福祉関係者が一堂に会し、互いの連携を深め、自立意識の向上を図ることにより、母子寡婦福祉の一層の増進を図ります。

とき 令和6年7月7日(日) 10:30～12:00

ところ 石川県女性センターホール

◆主催：石川県・(公財)石川県母子寡婦福祉連合会

◆後援：(福)石川県社会福祉協議会

秩父宮妃殿下御歌

あらし世の
風にたえつつ
手ひとつに
子を育てゆく
母に幸あれ

(昭和三十五年 全国母子福祉大会
創立十周年記念大会に際し下賜)

生き抜く白百合

一、けわしき山路の白百合は
雨にも風にも耐えて咲く
気高く清らかな花のごと
浮世の波に生き抜かん

二、のびゆくわが子に亡き人の
面影みえていとほしく
茨の山路はつづくとも
手と手をつなぎいざ行かん

三、黒雲空をおほうとも
いつかは洩れる陽の光
冷き冬来れば春近し
青い小鳥よ窓に啼け

(昭和三十五年 全国母子寡婦福祉団体協議会 受唱歌)

母子及び父子並びに寡婦福祉法

(基本理念)

全て母子家庭等には、児童が、その置かれている環境にかかわらず、心身ともに健やかに育成されるために必要な諸条件と、その母子家庭の母及び父子家庭の父の健康で文化的な生活とが保障されるものとする。

寡婦には、母子家庭の母及び父子家庭の父に準じて健康で文化的な生活が保障されるものとする。

(国及び地方公共団体の責務)

国及び地方公共団体は、母子家庭等及び寡婦の福祉を増進する責務を有する。

(自立への努力)

母子家庭の母及び父子家庭の父並びに寡婦は、自ら進んでその自立を図り、家庭生活及び職業生活の安定と向上に努めなければならない。

プログラム

● 開 会 10:30 ~ 10:35

開 会 の こ と ば
秩 父 宮 妃 殿 下 御 歌

● 式 典 10:35 ~ 11:10

- ◆あいさつ 石川県知事
(公財)石川県母子寡婦福祉連合会会長
- ◆表 彰 石川県知事表彰
(公財)石川県母子寡婦福祉連合会会長表彰
- ◆祝 辞 石川県議会議長
石川県民生委員児童委員協議会連合会会長
石川県婦人団体協議会会長
- ◆謝 辞 宮川 優子 (受賞者代表)

..... 被 表 彰 者
(50音順)

- ◆石川県知事表彰
碓川 直子 (七尾市) 泉 いつ (小松市) 上田利志美 (宝達志水町)
表 千春 (白山市) 田向 幸子 (かほく市) 前多 良子 (中能登町)
宮川 優子 (加賀市)

- ◆(公財)石川県母子寡婦福祉連合会会長表彰
麻生由加里 (加賀市) 一戸美知代 (かほく市) 黒本 千里 (小松市)
清水 豊子 (宝達志水町) 敦島 幸江 (金沢市) 任田 朝子 (川北町)
宮川恵美子 (野々市市)

● 講 演 11:15 ~ 11:55

テーマ 『南国の風 ~心の花をさかせよう~』

講 師 白山市立北星中学校 音楽教諭 木下 典子

講演要旨

本土復帰真ただ中の沖縄県で生まれ育ち、歌の人生を選ぶ。出会ってきた人との縁。歌を通して学んだ人とのつながりや体験した事などを伝えたい。アメリカの影響の強い沖縄の文化と豊かさ溢れる石川の文化とのギャップ。カルチャーショックを受けたエピソードを歌を交えながら伝え、皆さんに元気と笑顔とパワーを与えたい。

講師略歴

沖縄県那覇市生まれ 琉球大学教育学部中学校教員養成課程音楽科卒業。
平成12年度沖縄県芸術祭オペラ「リゴレット」でジョバンナ役を演ずる。
第26回新報音楽コンクール声楽部門入賞、第26回金沢市音楽コンクール声楽部門一般の部金賞、第58回福井県音楽コンクール声楽部門入賞、第2回Kコンクール準プロフェッショナル部門3位入賞、第16回イタリアコンクールMusicArte クルトゥーラ部門奨励賞、ステラ部門奨励賞、第2回バーゼル国際声楽コンクール入賞、第3回Kコンクールプロフェッショナル部門3位入賞、第17回イタリアコンクールMusicArte クルトゥーラ部門3位。声楽を翁長 剛に師事。声楽グループソーニョKANAZAWA代表、沖縄オペラ協会会員。
沖縄県立豊見城高等学校、沖縄県座間味村立阿嘉中学校、沖縄県豊見城市立座安小学校、沖縄県糸満市立光洋小学校、沖縄県豊見城市立豊見城中学校、金沢市立小将町中学校、かほく市立宇ノ気小学校、金沢市立高尾台中学校、野々市市立野々市中学校、白山市立光野中学校、金沢市立高尾台中学校勤務を経て、現在、白山市立北星中学校勤務。顧問を務める同校吹奏楽部は9年連続金賞を受賞し、石川県代表として全国大会に出場。

● 閉 会 11:55 ~ 12:00

生 き 抜 く 白 百 合
閉 会 の こ と ば